

中国の経常収支黒字は最近、膨張しており、米国などと経済摩擦を引き起こしている。黒字拡大の原因の一つは家計貯蓄率の上昇であり、一人っ子政策などによる從属人口比率の急激な低下が背景にある。これは二〇一〇年までは高い水準を維持しつつ、早急な対応が必要である。

高い貯蓄率が  
経常黒字生む

中国の国民総貯蓄は国内総生産(GDP)の五〇%近くにまで上り、世界一の水準を誇る。また、

総固定資本形成(総固定

投資)も比較的高いが、

貯蓄が投資を上回っているため、

国全体のISAバ

ランス(貯蓄投資差額)

はプラスであり、大幅な

経常収支の黒字をもたら

率の決定要因について検証し、今までの動向を説明し、今後の動向を示す。

中国の政策提言

をして、最後に政策提言

をして、最後に政策提言

をして、最後に政策提言

をして、最後に政策提言

影響が大きい

五歳から五十九歳の人口

は下回っていた。

傾向を繰り、二〇一〇年の

本稿では、中国の貯蓄率の決定要因を後

に上げ、子どもが相対的に多くなるほど家計部門全体の貯蓄率が低い水準(〇・四六)を示すが、その後も〇・二九となり、世界全体の水準(〇・六二)を大幅に下回っていた。

一方、老年人口比率(五歳から五十九歳の人口に対する六十歳以上の老人の比率)は一九七五年には〇・一三であり、世

界全体の水準(〇・一六)に対する十五歳未満の年少人口(五歳から五十九歳の人口に対する十五歳未満の年少人口の比率)は一九五五年には〇・一三であり、世

界全体の水準(〇・一六)に対する六十歳以上の老人の比率(〇・一三)には〇・一六にまで

五年には〇・一六にまで

五年には〇・一六にまで